

# わがまちの「ちよつといい話」

NO. 64

「道徳のまち笠松」推進会議  
(笠松町教育文化課)

十月十三日（土）、秋晴れのもと、名鉄ハイキングが行われた。名鉄「新木曾川駅」をスタートし、「笠松駅」をゴールとする全長約七kmのコース。約二千五百名の方がわが

町を訪れた。きれいな町、笑顔、町の情報、お茶、地産品などこの町ならではの「おもてなし」をしようとして、「かさまつ超おもてなし隊」が結成され、三回の打ち合わせをもち、準備が進められた。

今回は、子どもたちの所属の子どももスタッフや笠松中学校生徒のおもてなしボランティアも活躍した。笠松みなど公園の東屋や笠松陣屋跡では、大人と共に

頃々午後一時過ぎまで絶えることなく続いた。町内各所に、心温かくおもてなしする姿があった。県町町内会では、おもてなしの「お陣やメイト」も生まれた。東屋に向き、おもてなしをするまちの駅もあった。中学生や子ども達も大人といっしょになって、おもてなしをする姿は、世代を超えたつながりが育まれたところを感じさせる。

この取り組みには、

◆ ◆ ◆

## 名鉄ハイキング

### かさまつ超おもてなし隊の心で

上がった  
いただいた  
保護者も一  
緒に取り組

み、心地よい休憩をとっていただいた。

◆ ◆ ◆

ハイキングする人の波は、午前九時



笠松中学校プール南で、寒天の販売やお茶でおもてなしをする中学生